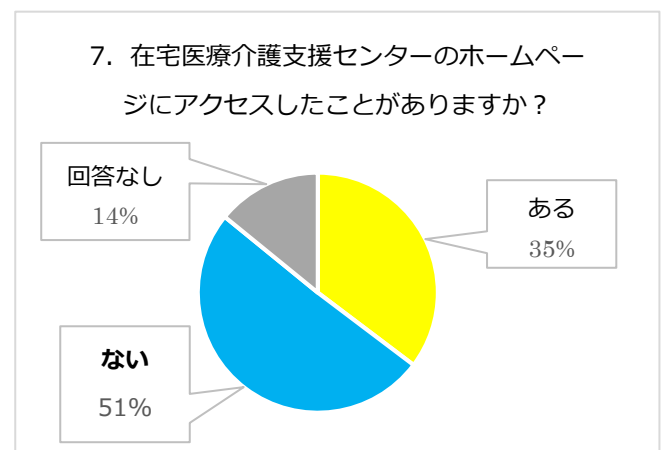
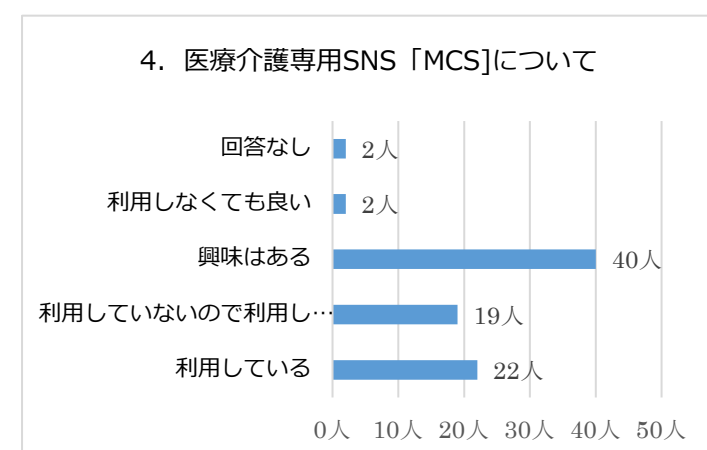
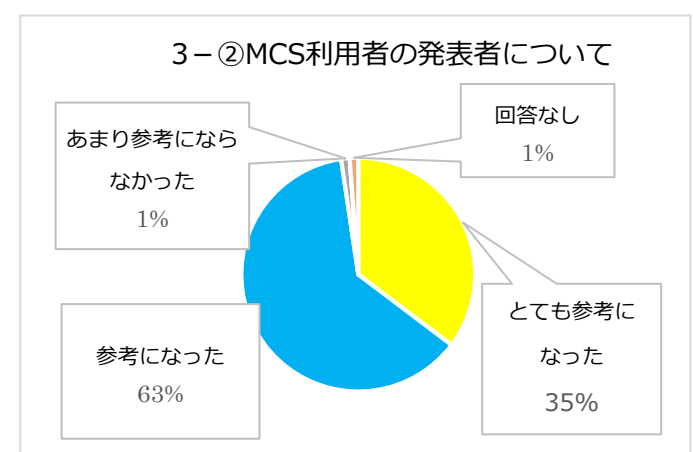
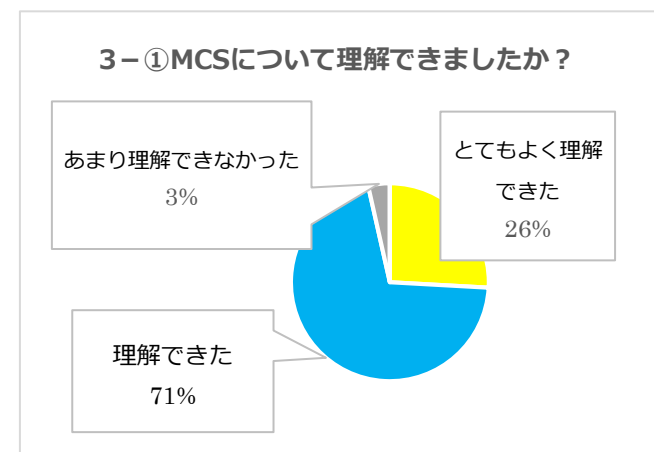
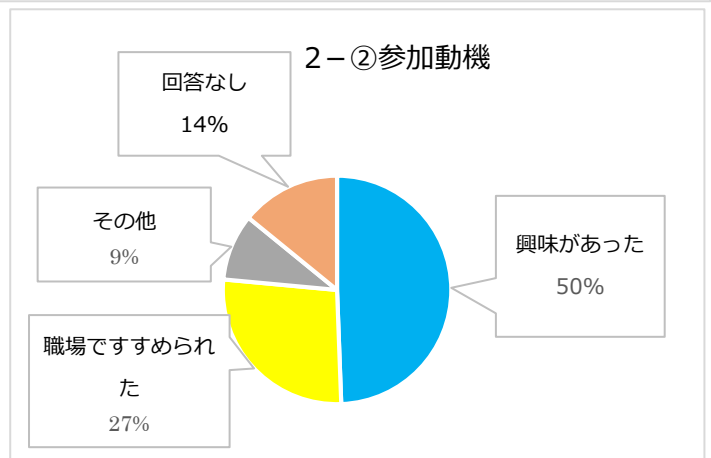
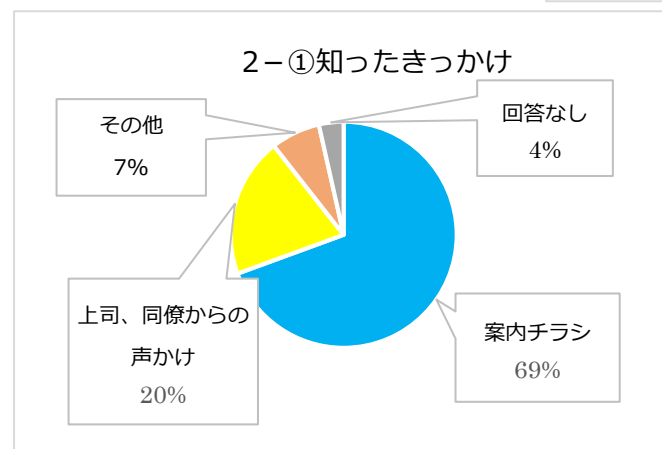
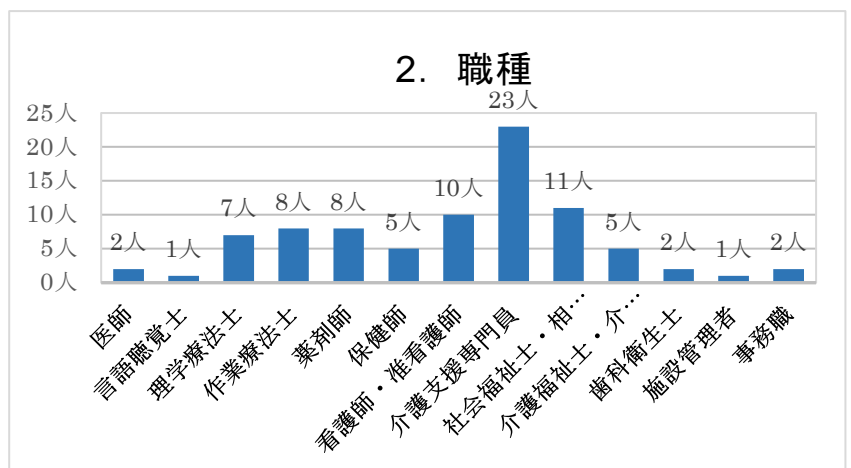
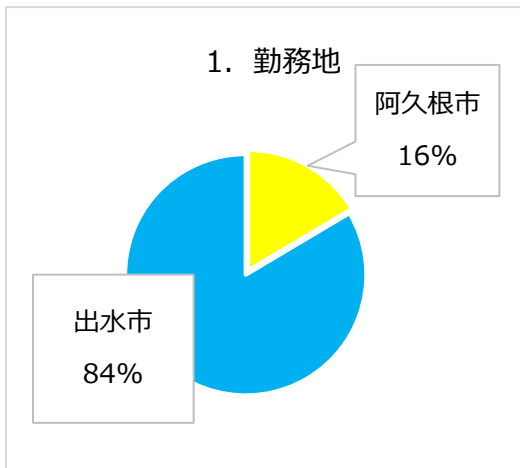


平成 30 年度 出水地区在宅医療・介護連携推進に係る多職種交流研修会

11月27日(火曜日) 出水市役所 4階大会議室

参加人数 119 名(研修広報班 23 名含む) アンケート回答 85 名 回答率 88%



5. MCS をもっと活用するためには、どうすれば良いと思いますか？（赤字は回答）

- ・パスワードの簡略化。⇒自分の好きなパスワードへ変更可能。（他 1 名）
- ・勤務時間内で MCS の使用が可能か。⇒自部署のパソコン、タブレットなど使用し可能。
- ・医療度の高い方に活用したい。⇒患者グループ作成が出来るのは医師、医師から依頼された人、在宅医療コーディネーター。その他患者以外のグループは MCS 管理者が作る事が出来る。
- ・ルールをはっきり提示して欲しい。
- ・お互いの訪問頻度を減らす。（病院⇄事業所）
- ・使いやすくシンプルにしていく事が重要。（他 1 件）
- ・多くの人の加入。専門職種と繋がるツールと PR していく。
- ・医師会への促進が必要。主治医、ケアマネの参加が必要。・主治医に対しハードルが高い。聞きにくい。（個人の問題）
- ・MCS の研修を再度開催してもらい、伝達して欲しい。定期的に広報し多くの方の周知が必要。（他 2 件）
- ・各職種の研修会や定期的な集まりでも、MCS について行えば理解を深められるのではないかな。
- ・在宅だけでなく、入院先との繋がりでどの様に工夫していくかが重要。
- ・各職種の利点に合わせて利用できるといい。カンファ、担当者会議用のスケジュール機能などあればいい。
- ・グループへ招待してくれるリーダー的存在がいたら、活用しやすい。
- ・認知症の方、その家族、かかりつけ医との連携がスムーズにできたらいい。（他 2 件）
- ・天災などでも活用できるのではないかなと思った。⇒研修内で広報しました。
- ・遠方の家族とのやりとりには有効的に活用できるのではないかな。⇒できます。
- ・使用する習慣をつける。（他 3 件）自分自身が入力する事に慣れる、苦手意識の克服。
- ・毎回毎回のログインはスマホから難しい。（他 1 件）⇒ID は保存できますので、パスワードだけの入力です。
- ・MCS 利用者、事業所が増えないと情報共有は難しい⇒できるところから情報交換して、共有したい方に利用を勧める。
- ・1 人に対してのグループを細かく作り、多職種での情報共有が出来ればいい。認知機能低下している方の状態や次回受診、受診時の説明など色々共有できればと思っている方もおり、作って利用してみたい。
- ・ログインせず新着メッセージの確認が出来れば、ログインする機会に繋がる為助かる。⇒設定可能。
- ・MCS 利用者の意見が聞いて良かった。MCS 利用の便利さを知った。（他 1 件）
- ・薬剤師の立場から、見ていない間の情報が得られるのはありがたいと感じた。
- ・全員、普段使用しているメールアドレスで登録すれば通知もいくから良いのではないかな。
- ・もっと簡単に使用できるといい。施設でも活用できると感じた。
- ・普及するように、頑張って使用するうちに便利なツールとし、進化すると思う。
- ・多職種の方々が興味がある事に驚いた。
- ・MCS について知る事ができ、よかった。ニーズのある利用者に活用できるといい。（他 2 件）
- ・現在まだ、電話での連絡が多い。緊急性など考慮し活用していきたい。
- ・実際のやり取りを見たい。（操作の仕方など）
- ・在宅での患者の情報を知る為に使ってみる。
- ・在宅医療、医療度の高い方に対し MCS を活用する事が必要と思っている。現在働いている、デイサービスではなかなか活用していないのが現状。今後、おおいに活用していきたい。

6. 多職種交流研修会で取り上げて欲しい、具体的な要望（研修内容、テーマなど）

- ・MCS の研修。ワールドカフェ型も楽しいので、様々な形式で。
- ・交流会の後、親交を深める為の飲み会。
- ・各専門職と本音で話あえる場面があるといい。

(その他) グループワーク時の意見

①連携において普段考えている事

- ・医療度の高い患者で、病院看護師に情報をもらえるとありがたい。
- ・残葉の多い担当を薬剤師に紹介しても 10 件のうち 1 件の返答で、多忙なイメージがある。
- ・薬剤師は受け身なイメージがある。聞いてもらえれば協力できる。薬剤師が輪の中に入れていない部分がある。
⇒自分からの発信も必要。
- ・連絡が来るタイミング、するタイミングが難しい。⇒MCS は、いつでもどこでも書き込みでき、利用できる。
- ・リハビリ：退院時、患者情報を提供するがこの情報が必要な情報なのかと、気になる。(ケアマネが必要な情報なのか)
- ・医師、リハビリ：トイレ介助など動画で具体的な事がわかるといい。
- ・わかる患者情報が欲しい。(現在やっているケア内容、以前の情報、訓練レベルなど)

②不便だなと思うこと

- ・褥瘡等、MCS で送る情報としては良いが、なかなか見てもらえなければ電話の方が早い。時系列で残っていくのは良い。
⇒画像送信後、TEL すると尚良い。
- ・30 分でログアウトする為、またパスワード入力が面倒。
⇒開きっぱなしの状態の方がセキュリティーの関係上問題ではないか。その都度ログアウトが基本。
- ・タイムリーに答えることが出来ない。⇒アプリ利用、電話を併用する事である程度 OK
- ・利用者や家族も見ていると思うと、考えてしまう。⇒医療介護側と利用者家族側の画面は違うから見ていない。

③MCS に関する疑問

- ・MCS は自分の携帯でも使用できるのか? ⇒使用できる。
- ・自宅で MCS 使用した場合、セキュリティー、個人情報の問題は大丈夫なのか。⇒クラウド管理で大丈夫。
- ・情報を見た事で、その後はどのようにしていくのか。⇒見た意思表示をする。必要な書き込みがあれば書く。
- ・誰がグループを立ち上げるのか。⇒MCS 管理者。患者グループの場合は、医師か医師から依頼された人、在宅医療コーディネーター。
- ・文字数の制限はあるか。⇒2000文字以内。
- ・パスワードの入力間違いで、なかなか繋がらない。⇒パスワードは半角で入力。
- ・ログインが難しい。時間がない。TEL がくる為、タイムリーに活用する事が難しい。⇒パスワードは変更可能な為、自分が覚えやすいパスワードに変えればよい。タイムリーでなくて良い。
- ・自分が担当している方が入っていないとか関わる事がない。⇒担当しているグループを作成するとよい。(宮内まで)
- ・Wi-Fi に繋いでいないといけないのか。⇒インターネット環境があれば不要。
- ・その都度、医師の理解があるのは手間。⇒医師が入っていない G もある。在宅医療コーディネーターがグループ作成できる。
- ・要支援の利用者だと屋外に出られるようにケアプランを作成する為、あまり必要性がない。しかし、内服薬に関しては利用価値あり。
- ・書き込みについてルールはあるか。⇒無いが、個人が特定される誹謗中傷な表現はしてはいけない。
- ・どの手段で連携をするか。返信がすぐこない場合電話してしまう。⇒それで良い。
- ・音声入力できるといい。⇒出来ます。

④MCS をこんな風に使ったらどうだろう (アイデア)

- ・レスパイト入院の方等、時系列で患者情報が見れば良いのではないかと。自宅に帰る際も活用できそう。
- ・入院前の状況等 (室内環境) を病院との連携に使用。そうする事で日程調整がしやすいのではないかと。

・薬剤師の方とは担当者会議などで、なかなか会えない。患者の状態と薬が合っているか、写真などで情報共有に使えるのではないかな。

・MCSに残薬、患者の状態を送っていただくと、空き時間に返信可能。

・退院時、活用のチャンス。(他1件)

・訪問看護の方が使用してくれればいい。⇒**訪看の方はほとんどMCSに入っている**

・内服薬が服用できていない高齢者の、家で飲めていない状況などMCSで発信していけばいいのではないかな。

⑤操作方法を理解できていない

・医師にだけ伝えたい事があるが、皆に書き込みを見られてしまう。⇒**つながりを使用すると解決できる。**

・皆に見て欲しいものは、呼び出し音が変わる。⇒**音は変えられないが、通知はアプリ登録でできる。**

・遠方の家族に連絡。⇒**家族参加できる画面はある。患者グループ全員を入れなくてもよい。**

・緊急性のあるものは、電話になる。⇒**通常、緊急性があるものは電話が望ましい。**

・写真撮影をしてきて、直接、医師に意見をもらう方が早い為、MCSは使用していない。⇒**行く時間よりTELが早い。**

・医師からも、MCSは難しいと話があった。使うまでの道のりが長い。⇒**医師のサポートをすればよい。**

・遠方の家族に連絡。⇒**家族の参加できる画面がある。その場合患者グループに全メンバーは入れず、その時々で必要な職種、メンバーを限定する事が出来る。(全員共有できる画面の場合⇒全職種閲覧可能 患者グループ画面でメンバーを限定⇒選ばれたメンバーのみ閲覧可能)**

⑥MCS使用のメリット

・患者に会えない間の事がわかり、内服薬の指導がし易くなる。(降圧薬追加など)

・時間を気にせず問い合わせが出来る。

・急がない情報でも、投稿する事が出来る。

・気を遣わなくていい。

・1対1でも情報共有が可能。

・ケアマネ中心のやり取りも可能。

・一人の職場なので、在宅の情報を得る為の助かるツール。

⑦その他の意見

・面倒くさい。登録の煩わしさがある。

・必要を感じていない。

・職場の記録とは別に発信しないといけない。一緒に出来るといい。

・すぐパスワードを忘れる。

・他の業務に追われる、MCSを開く時間が無い。

・招待されている人しか見られない。段階が見えれば楽しくなる。

・誰から招待されたかにより、違いがある。

・在宅の患者の関わりが無い。⇒**関わりをしていないのではないかな。**

・表現や内容が気になり、書き込みに時間を要する。⇒**まずは見ることから始める。**

・参照においては、便利さを感じる。

・この研修に誘われたが、少し敷居が高く感じた。現場スタッフと事業所の管理者で必要度の差がある。(現場スタッフ⇒必要性あり、事業所管理者⇒必要性なし) ⇒**現場スタッフは連携の必要性を感じ、登録許可を望んでいる事を管理者に理解して欲しかった。**

・リアルタイムに情報は見られるが、表情が見られないので少し不安がある。⇒**電話や面談にも使うと良い。**

・難病の方のグループは作成したが、既読はあるがコメントがきていないのか、発信できずに結局電話連絡になっている。⇒**思っている事を書いてみると良い。**

強制では無いので退会出来ます。
連絡をください。

医師の既読はなかなか見る時間がなく、MCS の徹底が出水では浸透出来ていない。⇒フォローの方がいると良い。宮内コーディネーターへ連絡をください。

・グループホームでは多職種でのやり取りが無く、ニーズはあるが、まだまだ抵抗がありそう。⇒必要になった時で良い。

・声掛けが難しそう。書類の手続きがなかなか面倒そう。⇒簡単にできます。電話する事に抵抗がある場合は在宅医療介護支援センターのホームページのメールでも良い。

